

鳴海ヶ丘新聞

第2号

2012年10月31日



展覧会 開催

10月13日展覧会が開催されました。今年のクラス展示は、「お話の世界」。



不思議な本のページをめくって、第1ホール

に足を踏み入れると、そこには様々なお話の場面が...



腹ペコオオカミに食べられそうな赤ずきん。優しい赤おにのお部屋、人間の世界を夢見る人魚姫。クラス全員で力を合わせて作り出したお話の世界に入り込んで楽しんでいただけたと思います。



て描画、粘土といつた個人作品もありました。ピロ

アートな世界へようこそ

ティを中心に展示された色鮮やかなこいのぼりは今も泳ぎだしそうでした。



土粘土作品は、顔、土器、体のごきというそれぞれテーマで、

個性あふれる作品を作り上げました。一つ一つじっくりと時間をかけてご覧になっている方もたくさんいらっしゃいました。小さな芸術家たちのアートな世界をご家族みなでお楽しみいただけただけではないでしょうか。

園タイムトリップ

今年度の展覧会も盛大に行われ、子どもたちの素敵な作品がいっぱいでしたね。土粘土作品は、各学年ごと違ったテーマで、いきいきとした作品がたくさん並んでいました。

鳴海ヶ丘幼稚園では、土粘土に専門講師をお招きして指導を行っていただいています。実は、この土粘土指導、とっても歴史があります。

姉妹園の栄光八事幼稚園は、鳴海ヶ丘幼稚園創立20周年記念として開園しましたが、その建設中になんと東山古窯という登り窯跡が発見され土器が出土されたのです。出土した土器は笠寺公園内にある見晴らし台考古資料館に収蔵されています。このことがきっかけとなり、栄光学園の創始者である当時学園長の岡田幸彦先生が、子どもの発達にも良いとの理由で土粘土の指導を彫刻家の古川清先生にお願いしたのが、最初でした。

土粘土に取り組んでいる子どもたちは、手、時には足など体全体を使って感触を楽しみ、いきいきと



登り窯跡での故岡田幸彦先生

しています。持ち帰った土粘土作品は、親子で制作の様子などを話しながら眺めていただけたらいいと思います。

もうすぐ幼稚園まつりです!

幼稚園まつりまで残り1カ月となりました。今、各クラスでは、歌やダンス、楽器演奏の練習で盛り上がっています。



黄組さんは初めての幼稚園まつり。先生といっしょにピアノ、ピョンピョンフリフリ♪練習中もとっても楽しそうです。赤組さんは少し難しいリズムダンスに挑戦！音楽に合わせて

身体全体で表現できるように頑張っています。

青組さんの器楽合奏は、クラスみんなで音を合わせるのなかなか難しく大変です。毎日、お友達と心を合わせて取り組んでいます。今年も、若草会の方や有志のお母様方といっしょに青組さんが第九を歌います。お母様方も青組さんも一生懸命練習しています。ぜひ当日は、いらっしゃった皆様もいっしょに第九の歌声を会場いっぱい響かせたいと思います。



展覧会を終えてお子様の作品を通して感動したこと、良かったこと感じたことを「保護者の声」として聞かせていただいています。「保護者の声」には感動の声や感謝の声がいっぱい詰まっています。読んでいる私まで幸せな気分になります。子どもたちの心が育つためには、その心を共感し言葉にしてあげることが必要です。子どもたちがわくわくドキドキする体験をいっぱいし、それをお父さんにお母さんに話し共感してもらおうことで、達成感を得て自信につながっていきます。展覧会を通して、絵を描くことが好き、工作することが好きという種を心の中にいっぱい蒔くことができました。子どもたち一人一人が持っている個性は、花の種のように、芽を出す時期も背丈も、葉のありようも開花の時期も違ってきます。でも、どの種も素敵な花を咲かせます。五感を使って心と体が一つになって何か夢中になる時、心は元気になります。このような体験を幼児期にたくさんすることが大切だと思います。

副園長 西川裕子

よもやまばなし